

## 令和元年度大阪府立鳳高等学校学校運営協議会（第2回）記録

日時 令和元年11月27日（水）14:00 ～ 15:30  
場所 本校 校長室  
出席者 蒲生委員、神代委員、神田委員、甲斐委員、福喜多委員、鈴木委員  
校長、教頭、事務長、首席

### 1 校長挨拶

### 2 校内見学・授業見学

### 3 協議

○令和元年度学校経営計画に基づく取組状況について

- ・「社会人基礎力」をベースに中期的目標を設定。
- ・大学進学をめざす生徒が多く、そこにつながる取組みは十分に行われている。
- ・進路選択のためのガイダンスや行事については、高い評価を得られると考えている。
- ・新学習指導要領に対応するための検討を続けている。今後は、より具体的な内容の検討を進めていく予定。
- ・授業アンケートも概ね肯定的な評価を得ている。
- ・ICT環境の整備は思うように進まないが、今後、ICT機器の整備が進むことにより、教員からも生徒からも工夫が生まれてくると期待している。
- ・部活動加入率も高く、熱心に取り組んでいる。その環境を整えることも大切。
- ・生徒の多様化や様々な課題に対応していくため、教員の研修等を充実させていきたい。
- ・創立100周年とも関連させて、環境整備を進めていくことを検討している。
- ・Webページのリニューアルを機に、教育コンテンツの利用や緊急連絡、欠席連絡等、活用の幅が広がっていくとともに、丁寧に情報発信を行っていきたい。

(委員) 薬物乱用防止教室は学校独自で行っているのか。

(事務局) すべての学校で必ず実施することになっており、本校では警察から講師を派遣してもらっている。

(委員) 時間外勤務が80時間を超える人が12人いるということだが、これは月80時間か。また、その時間は申告なのか、どのように把握するのか。

(事務局) 月80時間である。毎月ではなく、今年度のある月に80時間を超えた人ということである。1回だけの方も複数回の方もいる。いわゆるタイムカードのように出退勤の時刻を記録し、それを累計していく。

(委員) それはクラブか？

(事務局) ほとんどがクラブです。

(委員) 週1回のノークラブデーは？

(事務局) 実施している、かなり厳格に。しかし、土・日曜日に活動するのが大きい。部活動のために出勤したが、その前後に仕事をする場合、部活動の時間よりも在校時間が長くなる。学校外での活動は出退勤の記録が残らない。それらを含めると、実態はもっと多い。

(委員) スマートフォンの持ち込みはどうなっているのか。何かを調べたりするための。WiFiは整備されているのか。

(事務局) 教員が指示した場合のみ、使用を認めることはある。WiFiは電波が飛んでいるはずなのだが、5年前に整備された機器やシステムが古くなっていて、うまく機能していない。

(委員) Slackは有効か？

(事務局) 試行的に使っている。使い慣れているかどうかという差はあるが、会議の前捌きなどには役立っている。PCは教員一人1台あるが、毎回起動してログインしないといけないという面倒な面がある。

(委員) Webページと連動できないのか。例えば、教員専用のページがあり、資料提供、会議資料を事前に見るなど一元的に活用できないのか。

(事務局) Google Classroomの認証が取れば機能的には可能だが、情報管理等については慎重に検討が必要。他の府立高校で、生徒の端末も使って実施しているところもあるがハードルは高いようである。

(委員) Webページはスマートフォンに対応しているのか。

(事務局) レイアウトが少し変わったり、オープニングの動画がカットされたりするが、携帯電話、スマートフォンに対応している。

(委員) Webページは誰でも見られるのか。また、動画や写真に写っている生徒から了解を得ているのか。英語バージョンはないのか。

(事務局) Webページはフル・オープンである。動画や写真に写っている生徒からは個別に了解を得ている。英語バージョンは作成途中であるが、国際交流研修等のページで英語対応している。

(委員) 多くの自由選択科目があるが、特徴的な科目について、生徒以外も知ることができるのか。資格や職業につながるような科目は設定しているのか。

(事務局) 改編時、本校卒業生の進路やニーズをベースに学校設定科目を設けた。普通科と総合学科とでは設置科目に違いがある。進学型の単位制ということで、普通科の科目を深めたり、境界領域を学ぶという科目が多い。

(委員) これからは、生徒同士でディスカッションしたり、グループで調べたり、先生とトークするような授業の人気が出てくるだろう。本日の授業見学では、特に2年でそのような授業を見ることができたが、学校として取り組もうとしているのか、学年による差はあるのか。

(事務局) 学年というより、科目によって異なると思われる。科目により難しいものもあるが、年間や単元を通してみれば、多くの授業で考えさせたり調べたことを発表させたりするような授業を取り入れている。また、同じ時間でも展開により授業の様子は異なる。単位制で少人数の授業が多いので、少人数の良さを生かしたきめ細かい対応を行っている。

(委員) 資料にキャリア教育という文言があるが、例えばどんなことを行っているのか。授業として行っているのか。

(事務局) ホームルームの年間計画に位置付けている。1年であれば、職業について、その職業に携わっている人から話を聞いたり、質問をしたり、自分で調べたりするなど、大学進学の際にその先を考えさせるような取り組みを行っている。

(委員) 1年では早くはないのか。

(事務局) 単位制高校として、科目選択を行う際、進路について、大学受験のことだけでなく、もう少し先のことまで考えて選択するよう指導しているので、1年から進路について考えることを大切にしている。

(委員) 長期休業中の講習は、どのようなものなのか。補講なのか。

(事務局) 本校教員がいわゆる夏休みや冬休みに行う講習で、大学受験を意識したものが多い。1、2年でも行っているが、3年が多い。

(委員) 授業見学、授業アンケート等を授業改善に具体的にどう結び付けていくのか。

(事務局) 授業見学をしたうえで、生徒の様子等を互いに話す機会を設けたいと思う。世代を超えて互いの授業を見学することが必要だと考えている。

(委員) 授業アンケートはどのようなものなのか。誰が評価するのか、毎時間行うのか。学校独自のものなのか。

(事務局) すべての生徒が、年に2回、自分が受講している授業について評価する。以前は、授業の振り返りとして学校独自、教員独自でアンケートを実施していたが、現在はすべての学校で実施している。

(委員) 大学入試センター試験で英語民間試験の活用を見送ることになったが、そのことへの対応は。また、国語等の論述への対応はしているのか。

(事務局) 当該学年の生徒には明日、これまで明らかになっていることを整理して説明する予定である。また、英検についても、すでに申込済みの生徒が多数いるので、返金手続等についても連絡する。論述については、国語では個別指導の形でしっかりと指導している。英語でも全員にスピーチをさせるため、スピーチを組み立てる基本的なところから指導している。

(委員) 大学受験の安全志向、早く決めたいという思いがあると思うが、推薦入試を受ける人が多いのか。

(事務局) 本校も含め、確かに安全志向が高まっている。本校では、国公立志望の生徒が多く、指定校推薦は変動していない。公募制推薦は受験機会の一つとして受験する生徒は多いが倍率も高く厳しいため、結局、一般入試まで頑張って受験している。

## 5 その他

・次回以降の開催について

第3回 令和2年2月13日(木)

午後1時30分～

(スピーチコンテスト参観を含む)